



平成7年よ ありがとう
今年も良いことが
たくさん ありますように

年末らしい行事と言えば、餅つきがあります。「ベッタン ベッタン」と、昔は多くの家から餅つきの音が聞こえ、子どもたちは餅が出来上がるのを楽しみに待っていました。時代は変わり、今の子どもたちは家庭で餅つきに親しむ機会が少なくなっていました。

町内の保育園、幼稚園では保護者の方たちの協力で、毎年餅つき大会を行っています。12月16日土曜日、社会福祉法人高森保育園でも餅つき大会が行われ、子どもたちは実際に杵を持ち、餅つきを体験して、楽しい一日を過ごしました。

町民憲章

1. 水と緑と土のにおい、いっぱいの住みよい町にします。
2. 伝統を重んじ、文化の薫る潤いのある町にします。
3. 老人を大切にし、子供の夢を育て幸せな町にします。
4. 勤労を尊び、産業を振興し活力のある町にします。
5. スポーツに親しみ、心身をきたえ健全な町にします。



Children's Corner

わたしたちの作品

草部保育園

年長組



岡本 真里江さん



佐藤 謙太郎さん

もちつき大会の思い出



【工藤先生から】

やさしく世話好きで、ままごと遊びが大好きな真里江さんは、発表会の後のもちつき大会の様子を描きました。もち米が蒸されている様子や、お友だちと交替で歓声をあげて、きねでもちをついている様子が上手に描かれています。

クリスマス・ツリー



【工藤先生から】
フラワー紙を使つての貼り絵遊びで、クリスマスツリーを作りました。フラワー紙が水に弱いことなどの特性を知り、一つひとつ丁寧に貼りました。配色のバランスも良く仕上がっています。活発でまじめな謙太郎さん。鬼こっこで元気に遊んでいます。

Editorial

編集後記

まちの人と物を誇り合う心を

明けましておめでとうございます。本年も皆様方にとって素晴らしい年でありますよう、心からお祈り申し上げます。さて、今年もこの広報では、まちの人的、物的資源を掘り起こし、色々な話題を取り上げていきたいと思っています。みんながまちを誇り合えるような、皆様の心にうったえかける紙面づくりにより、すべての意味で「まち」発展に貢献できるように努力してまいります。色々な情報どうぞお寄せください。

広報たかもり担当 岩下 公治

たかもり出身の皆様へ

「広報たかもり」が返ってきています
転居のときは連絡ください
本誌が住所不明で、返却されてくること、がしばしばあります。住所や氏名が変わられた時は、早めにご報告ください。お知らせください。
09676-2-1111 広報担当
『ふるさと』への思い、お寄せください
ふるさと高森への思いや、まちの発展に役立つ、お住まいの所の紹介など、近況報告とともに、写真や資料を添えてお寄せください。
広報送料と協力ください
一カ月の送料は90円です。数カ月分まとめて、お送りいただくと結構です。切手は高額のものはなく、必ず90円切手で複数枚お送りください。また現金（為替など）でも、寄付をお受けしています。ご協力いただいた方は、お名前を紹介しています。



風薫る郷 実る年

高森町長 今村 博信

新年明けましておめでとうございます。

私たちのまち「たかもり」は、新町制をしいて以来四十年を迎えようとしています。戦後の混乱と激動を乗り越えて、今日の繁栄をもたらしたのは、町民の皆様の英知と努力によるものでした。

今、年頭にあたり、先人の足跡に学びつつ思いを将来にはせ、全職員一丸となって町民優先の行政を推進する決意を新たにしています。

文化の香り高いまちづくりをめざし

高原森林文化村構想の策定

一九九九年開催の熊本国体では、テニス競技を招致

町民総ぐるみの祭典と位置づけ、成功に向け施設の整備をはじめ、組織体制の充実など、鋭意取り組む所存でありますので、皆様方の深いご理解と絶大なるご支援、ご協力をお願い申し上げますと共に、ご健勝、ご多幸をご祈念申しあげまして、年頭のごあいさついたします。



魅力と活気あふれる 町づくり

高森町議会議長 後藤 英範

年頭にあたり、町議会を代表して新年のごあいさつを申し上げます。

顧みますと、昨年は阪神大震災をはじめ大きな事件など、色々な出来事が続く中、四月の統一地方選挙が執行され新議会が発足いたしました。

「住民あつての議会」という理念に立ち、町民皆様方の信頼と期待にお応えできるよう、最善の努力をかたむけて、円滑な議会運営と町政発展のため決意を新たにしております。

国においては、二十一世紀に向けた地方分権を推進し、地域の個性を生かした多様な地域づくりを提唱しております。住民に身近な問題は身近な地方公共団体が担っていくことを基本としています。

幸い本町は、風光明媚な自然環境に恵まれており、この自然を生かして魅力と活気あふれる町づくりをめざして、議会、執行部ともども一丸となって努力しているところであります。

どうか皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げ、私の年頭のごあいさついたします。

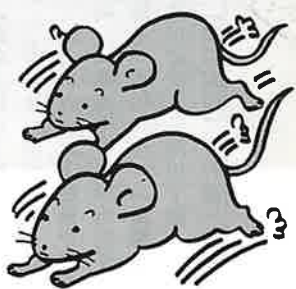
今年は子年

今年は子（ね）年。昔は夜になると、ネズミが天井裏を走り回り、チュウチュウと鳴く声が聞こえたりしたものです。最近では純粋な日本家屋が減ってきているためか、家屋の構造が変わってきたからか、天井裏を走り回ったり、鳴いたりするネズミは少なくなりました。

ネズミは数も種類も多く、ほ乳類の約半数、千七百種を占めると言われています。しかもほぼ全世界に分布しています。ネズミ算という言葉もあるように、繁殖力が旺盛で一回に二十四匹の子を産む種類もあります。

人間は昔からネズミの害に悩まされています。ネズミは農作物を荒らし、牧草地の草の根を食べたりします。イエネズミは貯蔵食糧を食べ、時には電線やガス管をかじって人間を困らせたりします。

また、下水道など不衛生な場所を通り道にするため、伝染病であるペストをもたらすこともあります。古代アテネやローマ帝国が滅亡したのはネズミがもたらしたペストのためだという説もあります。



一方ネズミの仲間でも、ハムスターなどの種類は、ペットとして可愛がられていますし、実験動物として医学の進歩に「貢献」しているものもあります。

身近な動物だけに、ことわざにもしばしば登場します。弱者でも追い詰められると強者に逆襲するという意味の「窮鼠猫を噛む」や、前ぶれの騒ぎばかり大きくて、実際の結果は極めて小さいことの例えである「泰山鳴動して鼠一匹」などは良く知られています。

また、「鼠の嫁入り」とは、あれこれと選んでみても結局は変わりばえのしないところに落ち着くというイソップ話にも出てくる例えです。

さて、今年は十二支のトッブ。昨年は天災や事件の多い年でしたが、今年は気分一新して、良い年にしたいものです。

歯は一生の『つれあい』

これからも歯を大切にしようね



今年の「8020運動」受賞者コメント

「何と言っても規則正しい歯磨き、特に食後すぐの歯磨きと歯茎のマッサージは有効です。また、好き嫌いをなく何でも食べることが身体と健康のためになることから、歯を丈夫にすることは大切ですね。」と皆さん話されていました。写真左から岩下保さん（自歯27本）、桐原ツユ子さん（自歯25本）、後藤政廣さん（自歯27本）

特集 むし歯予防



健康福祉展での歯科無料検診から

歯の役割 切る、砕く、すりつぶす

このように、人の歯には3つの役割があります。人は歯を噛むことにより、唾液の分泌を促し、消化の働きを助けます。また、顎を動かすことによって、脳に刺激を与え、特に乳幼児期では脳の発達に大きく影響します。このように大きな役割をしている歯を大切にしましょう。（阿蘇郡歯科医師会）

「むし歯予防」に取り組む

むし歯予防推進指定校 高森小学校

本町は、他町村に比べてむし歯の人が多くという統計があります。（3才児のむし歯保有率は80%）このため町や市内の学校、保育園、幼稚園では、むし歯の予防と撲滅に向けて積極的な取り組みを行っています。

高森小学校（佐藤昭也校長 児童数三七七名）でも本年度から二年間、文部省から「むし歯予防推進校」の指定を受け、全校的な取り組みを行っています。

十二月十五日、同小学校の保護者参観授業において、六年一組、五年生二クラスで保護者と一体となった、むし歯予防の授業があり、保護者の皆さんや子どもたちは、奥歯にむし歯が多いことと、むし歯にならないためにはきちんと歯を磨くことが大切であると、はつきり認識されたようでした。



奥歯の磨き方 むずかしいですね

高森小 むし歯に関するアンケート結果から

- ☆子どもさんは歯磨きの習慣がついていると思いますか？ ついている38% 少しついてきた49.5% ついていない10.5%
- ☆子どもの歯磨きチェックしてますか？ いつも確かめる12.4% 確かめることが多い56.6% あまり確かめない27.1%
- ☆ご家庭で「むし歯」や「歯磨き」について話し合いますか？ 良く話す14.2% 時々話す84.4% 話さない1.4%
- ☆子どものむし歯が何本あるか知っていますか？ 良く知っている38.6% 大体知っている57.1% 知らない4.3%
- ☆一日何回歯を磨きますか？ 1回16% 2回46% 3回30% 4回以上8% 磨かない2%
- ☆食べた後、歯を磨かないことがありますか？ よくある22% 時々ある60% ほとんどない10%
- （保護者の方が歯磨きの習慣がついていると思われることに反して、磨かない子どもがかなりいることがわかります。）
- ☆むし歯の治療にすぐ行きましたか？ すぐ行った25.4% しばらくして行った28.3% 行かなかった45.7%
- （行かないと答えた児童が約半分も占めています。放っておくとどんどん悪くなります。すぐに治療しましょう。）

保護者回答

児童回答

今年も明るく 健康に過ごしましょう



食事や運動など健康面について町保健婦などが説明。皆さんは熱心に聞き入っていました。



健康に関する展示物を見る人たち。温泉入浴の一般の方も熱心に見入っていました。

今年も「たかもり 湯ったり健康・福祉展」と題した健康づくり推進大会が開催されました。健康に関する様々な展示や健康相談、そして国民健康保険世帯の健康優良家庭表彰や健康な歯表彰、優良献血者の表彰もあり、訪れた人たちは温泉館の素晴らしい湯につかりながら、健康の大切さを「湯ったり」考える良い機会になったと話されていました。

バランスの取れた食事と適度な運動が健康の秘訣です。みんなで今年も明るく健康に過ごしましょう。



- 表彰を受けた方々 おめでとうございます
- （敬称略）
- 国民健康保険健康家庭表彰
（平成六年四月一日から平成七年三月三十一日までを基準として、一年間以上無受診の世帯で、国民健康保険税完納世帯）
- 荒牧十四郎 谷口進吾 田上文雄
波多野いくの 宮本徳男 上村吉輝
有働龍雄 後藤テールカ 馬原清子
岩崎誠 杉田富雄 渡邊智子
池田ワトモ 岩下真理 工藤政行
榎木野多美子 今村俊男
後藤善延 武田達 浜原トメ子
芹口ハツ子 榎木野マサ子 馬原忠徳
後藤ハツ子 緒方信明
興裕二行 佐藤徹 林シズ子
富永學 甲斐善蔵 甲斐友長
中島キサエ 本田幸人 佐藤耕平
松本紀夫 栗焼章聖 山本今朝徳
児玉國廣 後藤契
- 国民健康保険健康優良世帯表彰
（平成六年四月一日から平成七年三月三十一日までの間に二人以上の世帯で医療費が二万円以下と、一人世帯で医療費が一万円以下の国民健康保険税完納世帯）
- 中嶋トミ子 荒牧國明 佐藤健蔵
佐藤幸雄 有馬安弘 佐藤今朝弘
後藤サカエ 今村博實 白石俊郎
武田茂樹 甲斐俊子 太田ミヤ子
福本幸子 江口照二 西依博
荒牧タネ子 津留栄樹 津留スエミ
岩下吉富 岩下英喜 赤星直晴
富永ミエ 工藤恵廣 本田登
甲斐ミキエ 工藤助 工藤忠利
富永栄一 二子石一 蔵
本田明男 瀬井義幸 一水房夫
小倉ミホ 首藤金光 安藤チヲ子
本田恵一
- 8020運動受賞者
（20本以上が自分の歯という八十歳以上の方）
- 後藤政廣 岩下保 桐原ツユ子
- 献血70回以上受賞者（）は回数（百回、百五十回、三百回到達者は再表彰）
- 住吉昭泰 植田五雄 後藤秀希 杉田則秋 児玉民江 吉良嘉人 沼田勝之
- むし歯ゼロ運動受賞者
（三歳児の部）
- 後藤順 本田瑞希 緒方理奈 津留茜 大内田晃陽 松本泰勝 本田人史希 興裕雅 佐伯栗山 山崎秋沙 都雄一 右今秀尚 後藤理恵 工藤あいか 宮原弓恵 牛嶋涼 岩下亞理沙 後藤未来 工藤志津香
- 小学・中学・高校の部
- 【高森小】 田上將太郎 西原菜々 三井康生 桐原雪之 岡田清隆 住吉まみ
- 【上色見小】 徳丸恵美
- 【高森中】 田所麻衣子 山村麻子 佐伯和則
- 【高森東中】 矢津田直樹 矢津田千鶴
- 【高森高校】 佐野進一郎



昭和44年から町商工会理事、交通安全協会役員、町体育指導委員長、県家畜商協同組合役員を歴任。昭和50年から62年までの3期12年間、町議会議員（経済委員、建設、水対策、総務委員長など）として町行政発展に貢献。

産業振興

中川清澄さん 厚生大臣表彰

食品環境衛生の向上発展に尽力

地場産業の発展について考える

食品衛生の重要性

大字高森、上町の中川清澄さん（73歳）が十月二十四日、厚生大臣表彰を受けられました。これは、永年にわたり、自営食肉店の衛生面の向上発展と地域発展への貢献が認められたものです。

言うまでもなく、自家用であれ、商業であれ、食品衛生は最も大切なことです。特に商業用としての食品衛生は完璧なまでに守られなければならないなりません。体格、体力、健康の源である食品の衛生面を怠ってはなりません。

各ご家庭でも特に梅雨時期など、食品の衛生面についてしっかり考えていただきたいと思います。

畜産は山を守り自然を守る

牛肉に限らず、様々な農林産物が輸入自由化されています。これも時代の流れであり、しかたない面もありますが、一つの例として、畜産の衰退は野焼きが出来なくなり、山の土が荒れて災害発生や動植物の生態系にも影響が出ていくことを知ってください。

地場産業の振興が地球を守る

資源がない日本。世界経済の中で生きていくためには畜産に限らず地場産業の振興を図ることが大切です。海外に頼るところは頼りながら、相互の理解と協力によることはもちろんですが、人口増加の面からも言えるように食料の自給など、農林業は自分たちの力でまかなう必要があると思います。これが大きな目で見た場合、地球の存続にも関わってくると思います。

南阿蘇はこれから栄えていきます。その繁栄がすべての繁栄につながるように、みんなで頑張りたいですね。

ふるさとの味とアイデアで まちおこし

野外田楽 in たかもり

主催 [19BOX] 高森町活性化研究会 後援 高森町 熊本県



高森の印象、魅力、提言聞かせてください

イモニタリング



11月11日土曜日、温泉館駐車場内を特設会場として「野外田楽インたかもり（イモニタリング）」が開催されました。これは「食」をテーマにした「まちおこし」に取り組んでいる町活性化研究会（会員19名、愛称ジュークボックス）の主催により、高森の魅力や印象など、様々な意見を聞いてまちおこしに役立たせようと開催されたものです。アンケートによる集計結果はあらためて掲載いたします。快晴の中、熊本市を中心に県内各地から約百名が訪れ、絶景の根子岳を眺めながら野外田楽を楽しんでいました。

全国の「さといも」展示



日本のサトイモの系統を調査し、ツルクヨイモはもろい、珍しい鹿兒島のタケクヨイモなど全国から8種類を展示。

JA阿蘇南 南在婦人部 手作り 健康味噌づくり

農業ニュース

Agriculture News



おいしい味噌ができますように心を込めて作ります

十一月二十四日、阿蘇南農協、南在（森・冬野）婦人部（すみれ会）林サヨ子会長、会員30名の皆さんが、本年用の手作り味噌の仕込みを行いました。これは、平成二年からの会の皆さんの自主的取り組みとして、専用の畑を持ち、毎年六月下旬の大豆の植え付けから十一月十日頃の取り入れ、そして十一月下旬の仕込みまで、力を合わせて自家用の味噌づくりを行っているものです。

これまで、減塩と成分無添加に気をつけた、手作りの「健康食品」づくりの一つとして、会員を六班に分けて活発な活動が続けられてきました。仕込まれた味噌は今年九月頃まで密封熟成された後、自家用として一年間大切に使われます。また、作業後の雑談が、会員同士のコミュニケーションになって楽しいと、皆さん話されていました。

特賞に後藤すまさん（大字上色見）



【入賞】（敬称略）

熊谷 薫（尾下） 馬原清子（高森） 奥阿蘇「はなしのぶ」ベーカリー（草部） 本田澄子（上色見） 奥阿蘇はおずきグループ（草部） 佐伯秀子（上色見） 本川つや子（高森） 白石三千代（上色見）

特産品コンクール

十一月二十三日の勤労感謝の日、今年も町特産品コンクールが高森温泉館で開催されました。これは回覧で募集していたもので、町の産業や観光の発展のために、優れた特産品や郷土料理、工芸品の「ほりおこし」を目的に行われたものです。今年は特産品10点、郷土料理4点、工芸品6点の計20点の「味やアイデア」に優れた作品の応募があり、独自性、地域性や原料、技術、市場面などについて、阿蘇農業改良普及センター、阿蘇蘇広域行政事務組合、阿蘇南農協から審査協力いただき、公平、厳正な審査の結果、特賞に1作品と入賞8作品が選ばれました。



税申告（納税相談）の日程表 回覧で全戸に配布します

最終期限は三月十五日

今年も税の申告時期がやってまいりました。昨年中（平成7年1月1日から12月31日まで）の収入による所得税や贈与税の国税と、県民税や町民税、国民健康保険税などの町税の申告をしていただくものです。申告されないと所得証明や扶養証明などの各種証明が発行されないだけでなく、色々な税の控除が認められないなど、不利になる場合がありますので、必ず申告されますようお願いいたします。

来月から税の申告が始まります 申告準備 始めましょう

申告が必要な方

- 農業や商店などを営営する自営業の方（収入の多少にかかわらず申告してください）
- 内職、外交などの事業者、年金、不動産、利子、配当などの収入がある方
- 給料やボーナスなどの給与収入を得ている方が、別に収入がある場合
- 昨年中に退職した方で、今年一月一日現在、就職していない方
- 雑損控除や医療費控除などを受けようとする方
- 国民健康保険世帯の方は、収入の有無や多少にかかわらず、必ず申告してください。保険税の軽減や、入院時の一部負担金と食事の患者負担額の軽減が受けられる場合でも、未申告であれば軽減されません。

◎そのほか申告に関するおたずねは、役場税務課までどうぞ。

☎2-1111 内線138番

サラリーマンの確定申告

確定申告

サラリーマンの方のほとんどは勤務先の年末調整で所得税の計算も済み、源泉徴収されますので確定申告は必要ありませんが、次の方は確定申告が必要です。

- 給与収入が二十万円を超える方
- 給与所得、退職所得以外の所得金額合計が二十万円を超える方
- ニカ所以上から給与を受けている方

また、災害にあわれた方や、多額の医療費を支払われた方、また、マイ

ホームを新

築された方

などは確定

申告をする

と所得税が

還付される

こともあります。



詳しいことは、阿蘇税務署
0967-22-0551番へ
お気軽にどうぞ。

人権週間

12月4日から10日までの一週間

まちの人権擁護委員さん紹介

人権に関する困りごと、心配ごとの相談 お気軽に。

高森地区	児玉民江	2-1074
色見地区	岩下敬公	2-1316
草部地区	工藤忠義	4-0020
野尻地区	馬原清二	5-0003



阿蘇郡人権擁護委員、町の委員、法務局、高森幼稚園児などがパレードに参加して「人権を守りましょう」と呼びかけました。

人権パレード

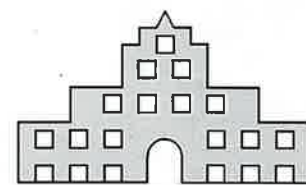
十二月四日

子どもの人権を守りましょう

一九四八年十二月十日に国際連合で「世界人権宣言」が採択されたのを記念して、十二月十日が「人権デー」と定められました。これに合わせて十二月四日から十日までの一週間は人権週間として各地区で様々な運動が展開され、本町でも十二月四日に人権パレードと八日に特設人権相談所が開設されました。

私たちは、子どもや女性、障害者の人権や国際化にふさわしい人権意識、部落差別などすべての人権について、自分のことととらえながら真剣に取り組み、一日も早い解決を図っていかねばなりません。

第4回町議会定例会



Minutes from town assembly meeting

議会だより

一般会計補正予算 行政手続き条例制定 などを可決

一般会計補正予算

予算総額 五十一億七千四百十六万六千円

平成七年度一般会計歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ一億五千八百四十六万七千円を追加し、歳入歳出予算の総額を五十一億七千四百十六万六千円としました。

これは、農業振興費の負担金五千六百六十二万六千円や、公債費の繰り上げ償還分八千七百四十四万六千円が増額された他、経常的経費などが増減されたことによるものです。

特別会計補正予算

■老人保健特別会計

医療費などの支払いの伸びにより、六千五百八十四万五千円増額補正して、予算総額を八億八千七百十六万六千円としました。

その他可決された 主なもの

■高森町行政手続き条例が制定されました。

これは処分や行政指導、届出の手続きについて定め、行政運営を公正、適正に行うことを目的としたものです。

■町有林野造林委託契約について

町は大字色見阿蘇嶽三二・三四一三番の内の、三万二千六百平方メートルについて、山鳥造林組合（代表岩下直康氏）と造林委託契約を結ぶことになりました。

高森工業団地に四つ目の企業、伊澤製作所が進出することになり、12月19日町と建設に係る協定が結ばれました。

詳しいことは二月号でお知らせします。

国道325号バイパス村山線

通れるようになりました

事故のないように 気をつけて通行してください

村山地区内の旧国道 まもなく整備を始めます。
3月中旬まで通行止めとなります。



消防署だより

消防なんでも南部分署

新年、明けましておめでとうございます。

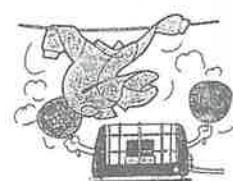
昨年は阪神大震災や地下鉄サリン事件など、かつて経験したことがない大きな災害や事件が起こりました。特に被害の大きかった神戸の震災地には阿蘇広域消防も特別救助隊を編成して応援に駆けつけました。

管内においては特別大きな災害もなく、新年を迎えることができました。本年も災害のない年でありますように祈りますとともに、職員一丸となって防災に取り組んでまいります。

危険です！ ストープでの洗濯物乾燥

ストープは寒い季節には欠かせないものですが、その上で洗濯物を乾かすなど、間違った使い方をすると火災の原因になります。

ストープで温まった空気が上に昇り、この空気の流れが乾いて軽くなった洗濯物を揺らしたりしてストープの上に落としてしまうのです。



阿蘇広域行政消防本部 南部分署 ☎2-9034

私たちの絵 中国に行きます!

International Relations

国際交流

真の交流と理解は実際の体験による認め合う心から



3校の力を合わせて国際交流

認め合う心 学びます

芽生えています
子ども達の国際交流

高森小、上色見小、色見小の子どもたちが描いた絵（三校の眼前に広がる阿蘇五岳を三分割して描写）を中国の小学校に送ることにしました。

これは三校のPTAが企画したもので、中国の子どもたちの絵も間もなく送られてくることになっています。

この絵が送られるのは中国河北省唐山市の西山路小学校（児童数一三三三）で、三校のPTAの皆さんは、「人口六百万人の石炭と鉄鋼の工業都市に住む同校の子どもたちに、大阿蘇の絵から「自然の素晴らしさ」を感じてもらいたい」と話されていました。

絵は三枚それぞれの個性が生かされて自由に描かれており、十二月十二日午後四時半、高森小学校に三校の子どもたちが集合して、それぞれの絵をつなぎ合わせて三校の交流も深めていました。

子どもたちは自分たちが描いた絵が送られる中国に深い関心を寄せており、この交流を契機として、相互理解による国際交流に目覚め、真の国際人にふさわしい精神を身につけて欲しいものです。



私たち みんな仲良し

一生けん命 作りました



高森小から一学年十枚ずつ、六十枚の絵も送られました。

国際交流はなぜ必要?

優しい心を育む国際交流

島国日本に先祖伝来から永く住む私たち日本人は、異国の文化や風習に慣れ親しむ機会が少なかつたため、外国との本當の付き合い方を知らない民族だと言われます。

これは、自国を基準にして外国を単純に比較するだけで、あるときは押し付けるなど、相手を認める精神に乏しいということです。

文化交流など、実際の交流と体験から得られる真の国際交流感覚は、人権や家庭教育、優しい人間性創造にも結びつく大切なことであり、相手を認める心を持った産業や経済交流は、相互に真の発展をもたらすことができます。

もちろん、日本の文化や風習、心を守ることは大切であり、是否を考えず、何でも単純に受け入れるということではありません。

募集中

海外旅行や研修、ホームステイ（受け入れ含む）など、外国の方との交流の体験やレポートを募集しています。連絡ください。

広報たかもり 岩下



マニラ麻園での在留邦人交歓風景写真（昭和6年頃撮影）フィリピンに移住した人のほとんどはマニラ麻生産の事業に従事。この写真の様に、時には集まり交歓を行っていた。



開戦直前の昭和16年夏頃の写真。やがてこの平和な一家が戦争に巻き込まれることになる。枠内は住吉英明さん。

フィリピン移住者の苦悩

一家全員が悲惨な戦争体験

特集 戦後50年

平和への更なる誓いを胸にして

今年、第二次世界大戦が終結して50年目を迎えました。節目としての戦後50年にあたり、戦争の悲惨さを見つめ、平和の尊さを考えようと特集を企画掲載しています。

戦前、ブラジルなど南米以外にもたくさんの方が移住。フィリピンにも約2万人が移住されたといわれています。今回は、フィリピンに移住され、第二次世界大戦開戦により家族全員が悲痛な体験をされた方のお話の中から、その一部を要約して掲載しました。



住吉英明さん 旭通

全員引き揚げ 復員の一家族

フィリピンでの成功を夢見て

私の家族は父母と兄弟男五人、女三人の十人でした。父忠恵は大正七年に単身フィリピンミンダナオ島に渡り、マニラ麻の事業に成功。大正九年、母ツヤエは私の姉二人を色見の祖父にあずけて父のもとに行きました。気候風土の全く異なる異民族の中での生活で、時には身の危険を感じながらも、夫婦協力してマニラ麻生産とともに旅館、飲食店などを経営するまでになりました。ここで私たち兄弟六人が産まれることになりました。私は大正十年に長男として出生。一番下の妹が昭和十二年に生まれ、開戦までは幸せに過ごしていました。私と弟二人は進学などのため、昭和十年に色見の祖父の

もとに帰り、私たち家族は離ればなれになって、それぞれに悲惨な戦争体験をしました。

開戦に始まる在留邦人の苦悩

昭和十六年十二月八日の太平洋戦争開戦と同時に、残った家族（父母と五年生の弟、二年生の妹）をはじめ在留邦人は、昭和十七年三月の日本軍上陸までの間、フィリピン軍に収容されて様々な苦勞により、多くの日本人が死亡。日本軍が上陸した時に解放されましたが、戦況が悪化した昭和二十年四月、在留邦人たちは今度はジャングル内を逃げ回ることになりました。同郷、親戚の人たち二十人位で、食料難、マラリア、下痢、皮膚病や山の形が変わるほど強力な艦砲射撃、空爆などの困難に遭いながら家族は奇跡的に難を逃れたものの、五十二万人の日本人とフィリピンの人々百十万人のたくさんの人が死亡しました。

昭和二十年八月十五日終戦。多くの日本人は終戦を信じず、そのままジャングル生活を続けましたが、九月にはほとんどの日本人がアメリカ軍に収容され、父母たちは二十年十一月、逃避行の時の哀れな姿のまま浦賀に引き揚げることができました。

私の戦争体験

私から三男までの三人は出征し、それぞれの戦地に向かいました。私は昭和十七年二月に中国西部戦線に従軍して四年五ヶ月の間、前線に立ち、戦闘の恐ろしさ、戦友の戦死、行軍の苦しさ、食料不足など悲痛な体験をして、つい最近まで、夢を見てうなされることもありました。

戦争は絶対してはなりません

結局、私たち家族は幸いにも全員、日本の土を踏むことができました。しかし弟二人は戦争時の病気が原因で相次いで亡くなりました。

私たちの家族以上に悲痛な体験をされた方も多いと思います。戦争は何一つ益をもたらず、日本人に限らず多くの人々に苦悩と苦痛、そして地獄の苦しみを与えただけだと思ふと、戦争への憎しみが募るばかりの今日この頃です。若い人たちは平和の有り難さを自覚し、何が何でも平和を守ってもらいたいですね。

この記事は本年3月号まで続けて企画掲載いたします。戦争に関わる戦前、戦中、戦後の写真や体験談、平和についてうったえたいことなどをお寄せください。

よろしく
お願いします

新しい民生・児童 委員さん紹介

厚生大臣から委嘱状

十二月一日、町では新しい民生・児童委員さんたちへ、委嘱状の伝達を行いました。本町の民生委員さんは二十二名。別に委嘱を受けられている主任児童委員二名がおります。

皆さんの主な仕事は、保護を必要とする方を適切に保護指導することや、社会福祉施設と連携しながら、その機能を助けるなどの福祉面はもちろん、地域の中で、住民の皆さんの色々な悩みや相談を受け、行政とのパイプ役として活躍されています。

各地区の民生委員さん紹介

(敬称略)

▼村山 田上徳雄 (総務)
▼上在 馬原芳隆 ▼天神・上町 村上壽子 ▼旭通 荒牧弘子 ▼昭和 佐藤民夫
▼下町 野崎二三 ▼横町 後藤嘉津子 ▼冬野・森・津留 津留 潮 ▼洗川・大村・中原 植木野徳繁 (副総務)
▼前原・小倉原 村上元次
▼色見 (小倉原を除く) 岩下光明 ▼草部 佐藤重信 ▼芹口 甲斐久恵 ▼菅山 田代 均 ▼永野原 工藤 連
▼下切 二子石頭 ▼中二子石澄子 ▼矢津田 本田 すす子 ▼津留 野尻典歳 ▼野尻 栗焼章聖 ▼尾下 野尻富美子 (女性部会長)
▼河原 後藤 嵐
■主任児童委員 (全町) 加藤 文凡 小糸美代

今回、次の方々が勇退されました。大変お世話になりました。▼上在 片山 守 ▼冬野・森・津留 林 昭三 ▼菅山 富永頼秋 ▼永野原 甲斐ミチ ▼下切 工藤光高 ▼津留 甲斐 新 ▼野尻 城井一義 ▼河原 森 助郎

保育園 入園申し込み 受付けます



町では平成8年度の町内保育園入園申し込み(入園申請)受付を開始します。入園申請には次の証明書や添付書類が必要です。申請は児童一人ごとにそれぞれ行う必要があります。また、現在入園している場合でも4月からの入園については新規に申請しなければなりません。入園の申請は下表の日程で受け付けます。

一月十六日から、入園受付開始します

入園申請が できるのは?

- 1、児童の家庭の母親が次の1から5までのいずれかに該当する場合です。ただし、要件に該当していても、母親以外の人が申請児童の家庭内保育ができる場合は除かれます。
- 2、児童の母親が家庭の外で働いている場合。
- 3、児童の母親が出産前後であつたり、病気や心身に障害があつたりするため、児童の保育ができない場合。
- 4、家庭に病人や心身に障害のある人がいて、母親がその看護にあたっている場合。
- 5、火災や風水害、地震などで家を失つたり、家が破損しているため、その復旧期間、保育ができない場合。

入園申請に必要な書類

役場町民福祉課窓口・草部出張所・野尻出張所、各保育園で受け取ってください。各書類は児童一人ごとにそれぞれ必要です。

- 1、入園申請書
- 2、家庭内状況申し立て書

この書類は各ご家庭の家族全員について、「働いている・身体が不自由など」の理由で、入園申請を行う児童を日中に面倒を見る者が誰も居らず、家庭内での保育が困難である(保育に欠ける)ということをし、申し立てていただくものです。したがって、この用紙に各種の証明を受けたり、証明書の写しを添付していただく必要があります。詳しいことはこの用紙に書いてありますが、不明な点は担当係におたずねください。

入園申請 受付日程

該当保育園名	受付日	受付時間	受付会場
高 森	1月16日	9:30~16:00	林業総合センター
高森・色見	1月17日	9:30~16:00	林業総合センター
草 部	1月18日	9:30~12:00	草部出張所
草部北部	1月18日	15:00~17:00	草部北保育園
野 尻	1月22日	10:00~12:00	野尻出張所
河 原	1月22日	15:00~17:00	河原保育園

上記日程に申請できなかった方は、1月25日までに役場福祉係にて入園申請を受け付けます。

高森町役場 福祉係 ☎2-1111 内線129番



草部北部保育園の子どもたち

『いじめを苦に自殺』また発生!

もしや わが町 わが子にも!?

「いじめ」の事実があるのではないかと感じられた時はすぐに、町教育委員会が各学校、保育園、幼稚園までお知らせください。高森町・高森町教育委員会

Family
Moral
Education

家庭教育

子どもたちの
すばらしい
未来のために

『いじめ』追放しましょう

また「いじめ」が原因となつた自殺や事件が起きました。昨年一月号に「いじめ」に関する記事を入れて一年経つた今月、またこのことに関する啓発記事を書くことになり、本当に残念です。

私たち保護者はもちろん、「おとな」として、社会全体で、「もうこれは放つてはおけない」と強く認識する必要があります。そして、親や家族、社会の責任として、学校と協力しながら一日も早く、「いじめ」をなくす取り組みを始めなければなりません。

子どもたちから、学校での 様子を聞いてみましょう

程度の差はあれ、「わが町にも『いじめ』があるのでは?」と疑ってみましょう。■イジメられていない子はいないか? ■仲間はずれにされている子はいないか? ■また、逆にイジメている子どもはいないか? ...を子どもたちから聞き取ってみましょう。

子どもの生活態度を観察 しましょう

「学校や保育園、幼稚園に行きたがらなくなった」「何となく沈んでいる」「学校や園、友だちの話がほとんど出てこない」「金使い(持ち出し)が多くなった」「異常に洋服が汚れたり破れたりしている」「体にアザや傷が目立つ」「電話での会話や応対がおかしい」など、子どもの態度に変化がないか、気をつけて見てください。

イジメを受けていても、本当のことを言わないのが子どもの心理です。「イジメを受けているのでは?」と疑う位に、注意深く観察してください。

▼特に三歳までの間は、親や家族は子どもに対して、スキンシップで愛情を注ぎ、適正、的確なしつけをしましょう。▼時間は短くても、子どもとの対話を欠かさず続けましょう。



12月19日 みんなでケーキを作ってクリスマスパーティーをしました

子育てサークル 風まるキッズ

子育ての悩み 話し合しましょう
毎週火曜日 10時からお昼まで
高森町中央公民館(昭和)
おたすねは保健衛生係までどうぞ

本誌十一月号、89ページで詳しくお知らせした町の「子育て教室」が、「子育てサークル」というお母さんたちの自主活動に結びつきました。子どもと楽しく遊びながら、日頃の悩みを気軽に話し合ってみましょう。「色々な活動を取り入れながら、学び合っていきたいですね」と、皆さん話されていました。

記事内のカットは平成7年度版「肥後っ子のシグナル」(県警本部発行)から転載



車から見えやすいようにするには?

冬になると黒っぽい服装をすることが多くなります。しかしこれは運転者から見えにくく、大変危険です。もちろん運転者も前方を良く見て運転しなければなりません。夜の歩行には明るい色の服装や、昨年町からお配りした反射テープ付きタスキの着用、懐中電灯の使用などにより、歩行者の「自己防衛」として、車から確認されやすい方法を考えることが、「命」を守るためには大切なことです。

『たかもりパワー人間』大募集

産業（農、林、商、工業など）、仕事、福祉、ボランティア、地域興し、環境保護、動植物愛護、教育（家庭、社会、学校、保護者会）国際交流、文化、芸術、スポーツ、趣味、特技などなど...やる気とパワーで頑張っている方の情報をお寄せください。（年齢は問いませんが、高森在住者か高森出身者に限ります。）

する重要性について詳しくお話してください。
勝木さん これは運転している時も、歩いていても言えることです。特に運転している時に歩行者や車が飛び出てきたらそのスピードで止まれるかを真剣に考えていただきたいですね。もちろんその道路での制限速度を守ることが当然ですが、無謀な運転が死亡事故や傷害事故につながる実際のケースは多いわけです。
あつてはなりません、万一、死亡事故を起こしたら相手のご家族はもちろん、運転者のご家族にも色々な面で悲しみと苦労が生じてきます。「命の大切さ」を本当に分か

つていただければ、無謀運転や交通法規違反はできないはずだと思います。
広報 急いでいたり、精神的に安定していないとき...そんな時が一番危険ですね。
勝木さん そうです。皆さん色々と忙しかったりして「いつか」ということがあると思います。しかし、そのちよつとした油断が、事故や違反につながります。精神的に安定していないと、見えるものも見えないということにもなり、判断や運動神経にも影響すると言えますね。

どんなに忙しくても、ハンドルを握った時には心を落ち着かせて、ご自分はもちろん、多くの人命の存続に関わっていることを思い起こして、心にゆとりを持った運転を心がけていただきたいですね。
広報 「命を守る」ことについて、歩行者の方にも考えていただきたいですね。
勝木さん 是非考えていただきたいと思います。道路への飛び出しは危険ですし、夜間外出される場合は、明るく目立つ服装に心がけるとともに、反射材を活用して、運転者か

ら見やすいようにすることが大切です。
また、歩行者の事故のほとんどは道路の横断の際に発生しています。中でも高齢者の方の車両の直前直後の横断が目立ちます。
年齢が高くなれば誰でも体力や運動能力が低下してきます。この点も充分自覚していただき、特に道路の横断では近くの横断歩道を利用するなどして事故にあわれないように注意していただきたいと思っています。
事故と違反ゼロのために心優しい運転を
広報 事故と違反のない社

会を作るのは難しいですね。
勝木さん 難しいことではあります。すべての意味で「防衛運転」と「思いやり運転」が事故ゼロ、違反ゼロに一步一步近づくと道だと思えます。皆さん一人ひとりが真剣に考えて実行していただくと、実現できることだと思います。
広報 お忙しい中、ありがとうございます。高森にはよく帰って来られますか？
勝木さん はい。休みの時に月一回はなるべく帰るようになっています。帰ったら温泉館につかってノンビリします。身も心もリフレッシュしますね。
広報 これからも身体に気をつけて頑張ってください。

交通問題を考える Traffic Safety

『たかもりパワー人間』登場

町出身の白バイ隊員
交通最前線で頑張っています

勝木 浩一さん 大字色見

県内の十一月末日現在の交通事故による死者は一四四人。その原因の主なもの、スピードの出しすぎや歩行者の安全不確認による道路横断中の事故で、運転者や歩行者が自気をつければ防げるものばかりです。
昨年は、死亡事故の増加率が全国一という不名誉な記録を出し、この対策のために警察、行政一体となった交通事故防止運動を積極的に展開しました。しかし、残念ながら

交通事故ゼロにはなりません。私たちは、「人と自分の命を守る」という強い意識を持たなければなりません。
交通事故や違反のない明るい社会づくりのために、本町出身の白バイ隊員が日々の交通指導に頑張っています。
この方は、熊本県警察本部交通部交通機動隊松橋分駐隊に所属する、本町色見、小倉原出身の勝木浩一さん三十一歳。交通最前線で活躍する勝木さんに色々な話をうかがっ

て要旨をまとめてみました。
交通機動隊とは？
広報 こんにちは。まず、日々の仕事の内容や交通機動隊について、お話しください。
勝木さん まず、皆さんご存知の様に、実際の道路での交通指導や道路交通法違反者の取締りもありますが、私たちが本来目指していることは、運転者の方が自ら「命の大切さ」を分かっていただけ

「命の大切さ」とは？
広報 なかなか大変な仕事ですね。はじめに言われた運転者が「命の大切さ」を自覚



うな取り組みをすることです。
交通機動隊は県内全域を管轄として活動しています。隊員数は六十六名で、私の所属する松橋分駐隊はその内十三名で組織されています。夜間はパトカーに乗り込んで指導も行いますし、マラソンなどの先導警備も行っています。
白バイは難しいですね
広報 オートバイは好きですか？
勝木さん もちろん仕事以外でもオートバイは大好きです。子どもの頃、白バイ隊員になることが夢でした。しかし、いざ夢が実現してみても、あらためて、簡単なものではないと思いました。当然ですが、遊びとは違います。皆さんの生命を守ることが私たち警察官の使命で、生やさしいことでは通用しません。また、自分の命を守るためにも、技術訓練はいつも真剣勝負です。
「命の大切さ」とは？
広報 なかなか大変な仕事ですね。はじめに言われた運転者が「命の大切さ」を自覚

みんなのひろば



障害者の日を記念して清掃ボランティア

高森寮・町身体障害者福祉協会

12月9日の「障害者の日」を記念して、12月8日、高森寮と町身体障害者福祉協会の皆さんが合同で、温泉館と山村広場駐車場周辺の清掃ボランティアを行いました。相変わらず空き缶やゴミがたくさんあり、「心ない行為…みんなであらためましょう」と、皆さん話されていました。

「ゴミポイ捨てやめましょう 高森三生 神輿で呼びかけ」
十二月十四日、高森小二年生が「ワッショイワッショイ」と、ダンボールで作った「神輿」をかつぎながら町内を練り歩き、「ゴミポイ捨てやめましょう」と呼びかけました。
これは、社会学習として行われたもので、まわりの祭を調べて、今日は祭の「お店やさんごっこ」も楽しみました。
子どもたちは「おみこしかつぎ楽しかったです。」と嬉しそうに話してくれました。

高森小サッカー部
「高森キッカーズ」

郡大会で優勝



十二月二・三日、一の宮町の宮地小学校で開催された、第二十四回学童ミニサッカー大会五年生以下の部で、高森小の「高森キッカーズ」が優勝しました。
試合ではみんなよく声を出し、自分達で指示を出し合ってパスも良くつながり、まとまりのある試合を展開。一試合ごとに調子を出し、子どもたちは優勝に大喜びしました。

1回戦 対山西小SC 10-0 2回戦 対阿蘇西小 6-0
準決勝 対山西小FC 2-2 (PK戦3-1) 決勝戦 対長陽小 8-1

中島一葉宗匠 句碑建立記念
肥後狂句大会

中島一葉肥後狂句碑建立(先月号の3ページに掲載)を記念した肥後狂句大会が、十一月二十六日、高森温泉館で盛大に開催されました。
大会は肥後狂句連盟、町文化協会、町教育委員会の共催により本誌が毎月掲載している町の肥後狂句会「御神火会」が中心となって行われたもので、県内外から肥後狂句愛好家約八十名が参加。中島一葉宗匠を偲んで、課題吟や当日に「傘」(題目)が発表される乱吟に、たくさんの素晴らしい作品が詠まれ、五人の選者により、最高作品の俳(おもかげ)から天・地・人までの作品が選ばれました。
また、今村町長も会に参加して「うまい お袋の味噌みしむる」と乱吟を詠み、「人」に入選しました。

大会結果 (天まで掲載)

課題吟

富永兆吉氏選
「俳」 大自然 句碑も見事な男振り
「天」 大自然 コップの嵐笑うとる
双鏡 茂子

平野双鏡氏選

「俳」 絶景絶景 ふり向けば宗匠の句碑
「天」 絶景絶景 三本上る日章旗
兆吉 米子

河野副木氏選

「俳」 大自然 口笛と追う羊飼
「天」 ズバリ 二十一世紀が不安
双鏡 巨足

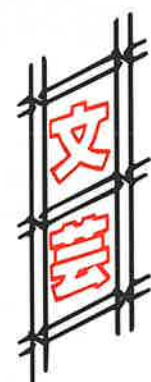
浦塚南天氏選

「俳」 絶景絶景 ふり向けば宗匠の句碑
「天」 絶景絶景 大自然こそ名巨匠
兆吉 小船

乱吟

太田雄三氏選
「天」 楽しみ 月末ア口開けらりゆう
兆吉

俳句



(高森菜の花句会)

Poetry Page



12時半 本町役場から後半一区の選手がスタート

前半の部 優勝ゴール間近の七区、野尻英樹選手

十二月十七日、郡陸上競技協会主催の第19回郡町村対抗阿蘇山一周駅伝大会で、本町チームが見事、九年ぶり三回目の総合優勝に輝きました。
これは阿蘇町役場を出発して、根子岳方向に本町役場までの前半を七区、後半は午後12時半に本町役場をスタートして立野を廻り阿蘇町役場に戻る八区の合計71・6kmを15名の選手で競われたものです。
本町の記録は4時間5分6秒で、二位の蘇陽町は4時間12分11秒、三位の一の宮町は4時間14分36秒でした。
前半、後半完全優勝は第8回大会の阿蘇町以来の十一年ぶり、選手・役員の皆さんは大喜びしました。
また、最優秀選手として本町の石田貴之選手が選ばれました。

選手名簿

監督 飯干 純男
マネージャー 津留 明義
【前半】
一区 野尻浩太郎 (区間賞)
二区 竹内 辰己
三区 岩下 大樹
四区 佐藤 修一 (区間賞)
五区 野尻 計助
六区 黒石 秀智
七区 野尻 英樹 (区間賞)
【後半】
一区 本川 雄士
二区 森田 あずさ
三区 佐伯 顕毅
四区 山村 祐史 (区間賞)
五区 本多 隆洋
六区 宇藤 康博
七区 吉良 友美
八区 石田 貴之 (区間賞)
補員
津留 誠、内田建二郎
高本 文昭、後藤 良平
土村麻衣子、荒牧 秀行
住吉 昭則、後藤 美和

見馴れたる外輪日々冬ざれて
下枝に触れつたりつ朴葉落つ
元朝の参道一歩一歩かな
冬の夜ビデオに追慕きりもなく
頂きを覆う普賢の冬の雲
新築のお鏡特に大きめに
広告のちらし増えゆく師走かな
積雪を告げて点滅電光板
冬ざれや永久の別れとなりし朝
髪切りてまだなじまねど初鏡
子の寝顔ほのぼの白き初明り
登校の子等の抜け道枯木立

弥永 ふき
内田 フミ
吉井千恵子
桐原 寿
山村ふみ子
林 久恵
古庄 泰子
平田るり子
馬原 要子
岩下 扶美
渡辺 恵
勝木 良子

きゅうかむらだより



今年20周年を迎えます

皆様のおかげをもちまして、当南阿蘇国民休暇村が本年十月一日、二十周年を迎えます。これを記念して休暇村の誘致活動や結婚式などの施設利用の思い出などを募集します。色んな情報や写真をお寄せください。

二年目を迎えた高森夜神楽

次のとおり、二月までの第二と第四土曜日に、高森阿蘇神社、上色見熊野座神社、草部吉見神社の夜神楽を上演します。鑑賞後は高森温泉館の湯にのんびりつかってみられませんか？

■期日 一月十三日、一月二十七日、二月十日、二月二十四日(第二と第四土曜日)

■上演時間 午後七時半から八時半まで

■鑑賞券 五百円(温泉館入館料を含む)

南阿蘇国民休暇村

☎212111

衛星放送を利用した通信制高等学校 生徒募集

中学卒業以上で、学習意欲のある人であれば、年齢、学力、国籍の制限はなく三年間で卒業可能です。

■学習は、衛星放送(PCM放送)を利用して次のように進められます。

- 1、放送授業をカセットテープで聞き、自宅で学習。
- 2、レポートを提出して添削指導を受ける。
- 3、月平均2回の日曜スクーリングに出席して、直接指導を受ける。
- 4、年3回の定期試験を受ける。

■募集期間 三月五日から三月二十八日まで。

詳しいことは...

☎862 熊本市渡鹿九丁目一番一号 東海大学付属望星高等学校 熊本校までどうぞ

☎096-383-7330

母子・寡婦相談

生活面やいろいろな悩みなどの相談をお受けします。お気軽にご相談ください。

■とき 一月二十五日(木) 午前九時半から十二時

■ところ 役場二階 第一委員会室

相談員 県の母子相談員

女性パート募集

テクノ・カワバタでは女性パート職員を募集しています。30歳から40歳まで。

■募集人員 三月五日から三月二十八日まで。

農業センサス報告 統計だより 高森町広報統計係

平成七年二月一日現在で行われた農業センサス(統計調査)の結果が集計されましたので、概要のみ速報します。

総農家数など さらに減少

	1990年	1995年	増減
総農家数	824戸	669戸	△155戸
農家人口	3,506人	2,891人	△615人
農地面積	1,747ha	1,503ha	△244ha

での女性若千名

■仕事の内容 単純機械作業及び補助作業

■勤務時間 午前9時から午後4時まで。土日、祝祭日は休み。作業服上着は貸与します。

問い合わせ、☎23001

年金相談

国民年金、厚生年金、社会保険についての相談お気軽に。

■とき 1月24日(水) 午前10時から午後3時まで。

■ところ 林業総合センター二階の会議室

入札結果

■工事名 多々野・札幌線災害復旧工事 550万円以上

□工期 平成七年十一月二十四日

戸籍謄本・抄本などの交付手数料が変わります

一月一日から、戸籍の謄・抄本等の交付に要する手数料の額が改定されました。

- ①戸籍の謄・抄本または記録事項証明書 一通 四百五十円
- ②除籍の謄・抄本または記録事項証明書 一通 七百五十円
- ③戸籍に記載した事項に関する証明 証明事項一件三百五十円
- ④除籍に記載した事項に関する証明 証明事項一件四百五十円
- ⑤届出・申請の受理証明書または届書その他の書類の記載事項の証明書 一通 三百五十円
- ⑥上質紙を用いた受理証明書(婚姻・離婚・養子縁組・養子離縁・または認知の届出) 一通 四百五十円
- ⑦届出その他の書類の閲覧 書類一件 三百五十円

軽油引取税 農業分 免税証の申請受付 2月1日～2月9日までです

農家の皆さんがトラクターなど、農業用として使われる軽油について、軽油引取税の免税証を交付します。希望される方は、次の要領で申請してください。

■申請に必要なもの ①申請書(県事務所に配布)、②平成8年度の耕作予定表、③耕作証明書(町の農業委員会で発行。借地がある場合は土地貸借を証明する契約書及び貸主の耕作証明書)、④免税機械等の所有・使用証明書、(役場で発行)又は、所有・使用を証明する書類(売買契約書、リース契約書など)、⑤機械の写真(横と後ろから写し、メーカー・型式が、はっきりわかるもの)、⑥印鑑

*すでに免税証の交付を受けられている方は免税軽油使用者証を持参してください。その際は上の④⑤は必要ありません。

■申請期限 2/1から2/9まで。

おたずねと、申請の場所は...☎869-26 阿蘇郡一の宮町宮地 熊本県阿蘇事務所...税務課 課税係

☎0967-22-1111 内線324へどうぞ

おめでたおくやみ

(1995.11月受付分)

赤ちゃんたんじょう

嶋田沙紀ちゃん	女	父・憲二さん
(横町)10・23生		母・かおるさん
佐藤奎弥ちゃん	男	父・幸一さん
(昭和)10・30生		母・千穂さん
橋本大輔ちゃん	男	父・浩みさん
(旭通)10・31生		母・くみさん
大塚勇輝ちゃん	男	父・一行さん
(旭通)11・6生		母・ゆかりさん
山邊千恵ちゃん	女	父・敬文さん
(天神)11・7生		母・文江さん
佐藤琢己ちゃん	男	父・信也さん
(山の口)11・9生		母・信也さん
津留扇ちゃん	女	父・智幸さん
(津留)11・14生		母・志麻さん
津留恒星ちゃん	男	父・恒誉さん
(旭通)11・16生		母・泰子さん
足立壮馬ちゃん	男	父・行隆さん
(大村)11・17生		母・由さん

すえながくお幸せに

(敬称略)

(楠淳一)	高森・天市	11.10
(福永恵美子)	本・上	11.30
(佐藤圭祐)	本・本	
(宮原わか菜)	本・本	

おくやみもうしあげます

(敬称略)

(住所)	(御遺族)	(続柄)	(死亡者)	(年齢)
高森	工藤進	母	工藤サエ	78
高森	後藤ミキ	夫	後藤力夫	70
高森	及川俊郎	母	及川チソ	78
高森	佐藤ハツ子	父	佐藤一	82
高森	松本恭造	父	松本 園	85
高森	馬場マツ子	夫	馬場 留夫	67
高森	本田 一	父の妹	本田ケサ子	62
津留	植木野 満	夫	植木野 篤	84
津留	阿南千和子	夫	阿南 敬文	54
津留	伊藤寛吉郎	父	伊藤 萬	96

人口の動き

(11月末日現在)

世帯数	2,581 (-3)
男	3,946 (-2)
女	4,216 (-5)
総数	8,162 (-7)

善意の灯

ありがとうございました(敬称略)

■町社会福祉協議会へ
(香典返し)後藤博祐 及川健郎 植木野満 阿南千和子 中河清一 馬場マツ子 松本恭造 佐藤ハツ子 伊藤寛吉郎 工藤捨男 今村公一
(火災見舞返し)堀田龍助

2月18日	2月12日	2月11日	2月4日	1月28日	1月21日	1月15日	1月14日
中村医院	東医	馬原内科医院	平田医院	藤本医院	みなみ阿蘇リニッ	立野病院	後藤医院
☎2333	☎2030	☎2064	☎2021	☎7002	☎7203	☎7001	☎7019



※都合により変更になる場合がありますので、テレホンサービスでお確かめください。(2-2222)

□請負者 柳岩下りんどう園